

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）担当教員一覧

\*印の教員は、平成29年3月31日付で定年退職予定または、平成28年度研究指導は行わない者。  
 なお、平成28年3月31日付で定年退職予定の教員は記載されていない。

<記載事項>

<b>(所属専攻)</b>		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
<b>(所属コース)</b>			
担当教員 (職名) : (氏名)	主な授業科目 (博士前期課程における主な授業科目名)	研究テーマまたは研究分野	
☎ 03-5978- (連絡先番号)		(研究テーマ、研究分野) (連絡先メールアドレス)	

平成27年5月1日現在

**ライフサイエンス専攻 Life Sciences** ☎ 03-5978- (下記☎参照)

**生命科学コース Biological Sciences**

担当教員 Position Name	授業科目	研究テーマまたは研究分野
教授 : 松浦 悦子 Professor : MATSUURA Etsuko ☎(5377)	オルガネラ遺伝学	【分子遺伝学】オルガネラ独自の遺伝子系の研究。ゲノムの構造や遺伝子発現、及びその進化をとりあげている。核ゲノムの遺伝子系との相互作用にも着目している。 e-mail: matsuura.etsuko@ocha.ac.jp
教授 : 千葉 和義 Professor : CHIBA Kazuyoshi ☎(5370)	分子発生学	【細胞・発生生物学】減数分裂や受精、初期発生過程において、細胞内外の情報かどのように伝達され、発生が制御されているのかについて研究している。 e-mail: chiba.kazuyoshi@ocha.ac.jp
教授 : 小林 哲幸 Professor : KOBAYASHI Tetsuyuki ☎(2604)	生体膜代謝論	【生体膜生化学】刺激の伝達・分泌・輸送・ストレス応答など多彩な細胞機能が営まれる場である生体膜について、その機能を担うタンパク質や脂質の代謝・動態を動物や培養細胞を用いて生化学的に解析している。 e-mail: kobayashi.tetsuyuki@ocha.ac.jp
教授 : 最上 善広 Professor : MOGAMI Yoshihiro ☎(5368)	細胞生理学	【動物生理学、宇宙生物学】生命現象の持つ「可塑性」と「安定性」という、見かけ上相反するふたつの特徴がどのようにして発現・維持されているか。この問題に対し、生体の外界因子の作用に対する、受容・増幅及び統合機能のダイナミックな特性を明らかにすることからアプローチする。外界因子として特に地球重力に着目し、地球生命の進化と多様化に果たした重力の作用を、宇宙微小重力実験などを通して明らかにすることを目指す。 e-mail: mogami.yoshihiro@ocha.ac.jp
教授 : 由良 敬 Professor : YURA Kei ☎(5514)	生命情報学特論	【生命情報学】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造座標、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、タンパク質がどのようにDNAやRNA、低分子などと相互作用することで、セントラルドグマなどの機構を実現しているかを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp
教授 : 加藤 美砂子 Professor : KATO Misako ☎(5293)	植物関連生理学	【植物分子生理学】植物に特有の代謝系に焦点をあて、その調節機構を遺伝子発現のレベルから解析している。特に植物の二次代謝系や脂質合成系を制御する分子機構に着目して研究を進めている。 e-mail: kato.misako@ocha.ac.jp
教授 : 作田 正明 Professor : SAKUTA Masaaki ☎(5712)	植物環境応答学	【植物生理学】動くことができず、環境の変化に直接曝される植物では、独特の環境応答機構が存在する。この機構の中心となる防衛遺伝子の発現（転写）調節について、生化学・分子生物学的側面より解析を行っている。 e-mail: sakuta.masaaki@ocha.ac.jp
准教授 : 清本 正人 Associate Professor : KIYOMOTO Masato ☎ 0470-29-0838	海洋生物学特論	【発生生物学】棘皮動物を材料に、初期発生における細胞の分化や形態形成のメカニズムを明らかにする。具体的には、ウニ胚の骨片形成細胞の分化における誘導因子や細胞間の相互作用について、培養系を使って研究している。 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp
准教授 : 宮本 泰則 Associate Professor : MIYAMOTO Yasunori ☎(5363)	分子細胞生物学（動物）	【分子細胞生物学】動物細胞の細胞外マトリックスと細胞との接着を担っている細胞接着分子について、細胞接着分子が増殖・分化・重点応答へ影響を分子レベルで解明している。特に細胞接着分子の中でもピロネクチンに着目し、神経細胞における発現と神経分化に対する作用機構解明を試みている。 e-mail: miyamoto.yasunori@ocha.ac.jp
准教授 : 服田 昌之 Associate Professor : HATTA Masayuki ☎(5579)	進化発生学特論	【進化生態遺伝学】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp
准教授 : 島田 智 Associate Professor : SHIMADA Satoshi ☎(5356)	植物系統進化学	【多様性生物学】どの様な生物種がどれほどの地球上に存在しているのか？そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか？という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shimada.satoshi@ocha.ac.jp
准教授 : 近藤 るみ Associate Professor : KONDO Rumi ☎(5372)	集団遺伝学	【分子進化学】生物の多様性と進化の問題を分子レベルで明らかにする。特に遺伝子の発現レベル（トランスクリプトーム）の多様性と進化に着目した研究を進めている。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp

**人間・環境科学コース Human Environmental Sciences** ◎印の教員は、平成28年度以降降置予定の生活工学共同専攻担当予定である。

教授 : 松浦 秀治 Professor : MATSUURA Shuji * ☎(5769)	人類進化学特論	【人類進化学・人類年代学】人類の起源と進化、日本列島の起源などに関わる化石骨の分析から、人類史における年代学的背景の解明をめざし、併せて古人類の古環境的背景を考察している。 e-mail: matsura.shuji@ocha.ac.jp
准教授 : 元岡 展久 Associate Professor : MOTOOKA Nobuhisa ☎(5585)	建築計画学特論	【建築意匠論】建築は何を表現するのか？様々な建築の実例を通じて、建築形態を分析し、設計の意図ならびに方法を研究する。 e-mail: motooka.nobuhisa@ocha.ac.jp
教授 : 太田 裕治 Professor : OHTA Yuji ◎ ☎(5739)	医用福祉工学	【人間工学】我々の生活と直接関連する生活支援機器、高齢者支援機器、人工臓器等の医用福祉機器の開発に関する工学的基礎研究を行う。生体システムを深く解析すると同時にシンセシス（設計）と技術評価に重点をおきつつ研究を進めている。 e-mail: ohta.yuji@ocha.ac.jp
教授 : 仲西 正 Professor : NAKANISHI Tadasu ◎ ☎(5745)	生活材料物性特論	【生活材料物性】機能性高分子の性質を物理化学的に検討し、機能発現機構を考察するとともに、生活材料の機能化の方向を探る。ゲル、荷電膜、消臭繊維などを最近の研究対象としている。 e-mail: nakanishi.tadashi@ocha.ac.jp
教授 : 大瀧 雅寛 Professor : OTAKI Masahiro ◎ ☎(5748)	環境工学特論	【環境工学】安全で快適な生活環境を確保するために、環境因子（主に水環境）が人間に与える様々な影響を評価する手法、及びそれらを管理制御する技術について工学的に検討、研究を行う。 e-mail: otaki.masahiro@ocha.ac.jp
准教授 : 長澤 夏子 Associate Professor : NAGASAWA Natsuko ◎ ☎(5743)	居住環境工学特論	【建築人間工学】都市や建物の利用者および環境にやさしい建築をつくるために、人間の生活、行動や身体とそれととりまく環境について工学的なアプローチで、建築空間の設計の根拠を提示する研究をおこなう。 e-mail: nagasawa.natsuko@ocha.ac.jp
助教 : 近藤 恵 Assistant Professor : KONDO Megumi ◎ ☎(2551)	生活環境史特論	【自然人類学、文化財科学】 e-mail: kondo.megumi@ocha.ac.jp
助教 : 中久保 豊彦 Assistant Professor : NAKAKUBO Toyohiko ◎ ☎(5746)	人間・環境科学方法論	【環境評価学】 e-mail: nakakubo.toyohiko@ocha.ac.jp
助教 : 小・美希 Assistant Professor : KOZAKI Miki ◎ ☎(5917)	建築環境学特論	【建築環境工学、照明・視環境】 e-mail: kozaki.miki@ocha.ac.jp

ライフサイエンス専攻 Life Sciences		
食品栄養科学コース Food and Nutritional Sciences		
担当教員 Position Name	授業科目	研究テーマまたは研究分野
教授 : 香西 みどり Professor : KASAI Midori ☎(5761)	調理科学特論	【調理科学】調理操作による、食物の味とテクスチャーの変化を化学成分および物性の測定を通して知り、この変化と人間の感覚との関係を知る。これらに基づいて嗜好性の高い食物を得るための調理条件を設計する方法を研究している。 e-mail: kasai.midori@ocha.ac.jp
教授 : 村田 容常 Professor : MURATA Masatsune ☎(5753)	食品加工貯蔵学特論	【食品加工・貯蔵学】食品の加工貯蔵中には様々な化学的変化がおこり、食品の特性や品質に大きな影響を及ぼしている。例えば野菜や果実を切ると褐変する。これには酵素反応が関係する。また、メイラード反応のような成分間反応も普遍的に起こる。そのような過程を食品学有機化学、生化学的に解析し、制御法も考案している。 e-mail: murata.masatsune@ocha.ac.jp
教授 : 鈴木 恵美子 Professor : SUZUKI Emiko * ☎(5770)	生体制御学特論	【栄養化学】微量栄養素の体内での生理作用について、その動態や代謝も含めて研究している。 e-mail: suzuki.emiko@ocha.ac.jp
教授 : 藤原 葉子 Professor : FUJIWARA Yoko ☎(5752)	栄養化学特論	【栄養化学、脂質栄養学】食品成分と動脈硬化症をはじめとする生活習慣病との関連に関心がある。特に多価不飽和脂肪酸や脂溶性ビタミンの生理機能研究を行っている。 e-mail: fujiwara.yoko@ocha.ac.jp
教授 : 本田 善一郎 Professor : HONDA Zenichiro ☎(5155)	生体防御学特論	【免疫栄養学・抗炎症栄養学】生活習慣病、動脈硬化、アレルギー自己免疫疾患の病態には免疫制御異常・慢性炎症のメカニズムが潜在している。病態を免疫学的な側面から解析し、栄養介入による是正を試みる。 e-mail: honda.zenichiro@ocha.ac.jp
教授 : 森光 康次郎 Professor : MORIMITSU Yasujiro ☎(5757)	食品機能学特論	【食品機能化学】近年、食品起源の生体調節機能性因子が注目され、その重要性が広く一般にも認識されるようになった。身近となった抗酸化物質から生活習慣病予防効果を示しうる食用植物由来の生理活性物質について、有機化学的・生化学的研究を中心に行っている。 e-mail: morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp
教授 : 赤松 利恵 Professor : AKAMATSU Rie ☎(5680)	栄養教育学特論	【健康教育(栄養教育)】人の食行動に関わる要因について、心理社会的観点から検討し、よりよい生活習慣を獲得するための方法を研究している。 e-mail: akamatsu.rie@ocha.ac.jp
准教授 : 飯田 薫子 Associate Professor : IIDA Kaoruko ☎(5474)	生活習慣病医学疫学	【応用栄養学、生活習慣病学】生体内における糖や脂質の代謝機構について生活習慣病との関連性から研究を行っている。 e-mail: iida.kaoruko@ocha.ac.jp
准教授 : 須藤 紀子 Associate Professor : SUDO Noriko ☎(5448)	人間栄養学特論	【公衆栄養学】災害時の食生活支援のための体制整備に関する研究を行っている。 e-mail: sudo.noriko@ocha.ac.jp
講師 : 市 育代 Lecturer : ICHI Ikuyo ☎(5750)	臨床栄養学特論	【病態制御学(臨床栄養学)】脂質の代謝異常は生活習慣など様々な疾患の発症に関わっている。病態における脂質の変動と疾病との関連について研究を行っている。 e-mail: ichi.ikuyo@ocha.ac.jp
助教 : 佐藤 瑤子 Assistant Professor : SATO Yoko ☎(5754)	フードサービスマネジメント特論	加熱調理・大量調理に関する予測的研究 e-mail: sato.yoko@ocha.ac.jp
遺伝カウンセリングコース Genetic Counseling		
教授 : 沼部 博直 Professor : NUMABE Hironao * ☎(5587)	臨床遺伝学特論	【臨床遺伝学・Dysmorphology、遺伝カウンセリング】小児科領域を中心とした先天異常・遺伝性疾患の診療・研究、ならびに臨床技術(アト)としての遺伝カウンセリングの実践を行っている。また、遺伝カウンセリングの来談者のグローバル化に対応すべく、医療人類学・文化人類学的観点からも遺伝医療に関わる生命倫理観の国際比較研究や、先天異常・遺伝性疾患の情報リソースの医療情報学的分析を行っている。 e-mail: numabe.hironao@ocha.ac.jp
助教 : 四元 淳子 Assistant Professor : YOTSUMOTO Junko ☎(5742)	遺伝カウンセリング学	【遺伝カウンセリング学】 e-mail: yotsumoto.junko@ocha.ac.jp